

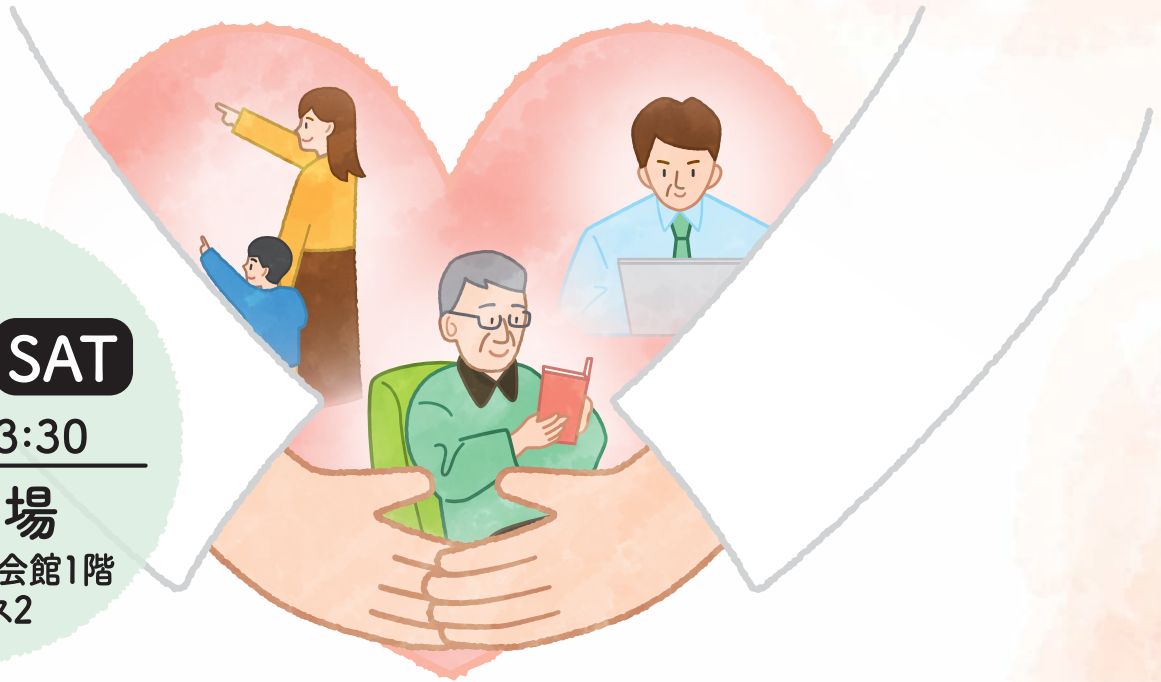
# 患者さんに優しい ニューコンセプト

2/3 SAT

12:30-13:30

第2会場

国立京都国際会館1階  
アネックス2



座長

栗山 晶治 先生  
洛和会音羽病院アイセンター

日々の診療においてコミュニケーションは非常に重要です。患者さんに分かりやすく病状を説明し今後の治療方針を理解いただくことは、長期に

治療を継続していくための鍵を握っていると言えるでしょう。そこで今回「患者さんに優しいニューコンセプト」というテーマでセミナーを開催させていただきます。

まずは診断の観点から「国産画像鮮明化技術がもたらす医療現場の革新」と題して宮田眼科病院の森洋斉先生に各疾患における画像鮮明化についてご講演いただきます。患者さんに病状を説明する際に重要となる画像の質が向上することで、患者さんへの説明の質も向上し、より理解が深まりやすくなることが期待されます。

次に治療の観点から「硝子体注射のニューノーマル」と題して洛和会音羽病院アイセンターの宮本紀子先生に、抗VEGF薬の選択肢についてご講演いただきます。抗VEGF薬は薬剤費が高額かつ長期にわたることから、治療を選択する際に患者さんの経済的な観点を意識することも重要です。安価であるラニビズマブバイオシミラーには、経済的な理由で治療継続が困難になってしまう患者さんを減らすことが期待されます。

本セミナーが先生方の明日からの診療の一助となることを願っています。

本会ランチオンセミナーは整理券制となります

|配布日時| 2月3日(土)7:30~11:30 (※無くなり次第、終了)

|配布場所| 国立京都国際会館 本館1F ロビー

※飲食数には限りがございますので、予めご了承ください。  
※会場には整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。  
※整理券は、セミナー開始と同時に無効となります。



演者1

国産画像鮮明化技術が  
もたらす医療現場の革新

森 洋斉 先生  
宮田眼科病院



演者2

硝子体注射の  
ニューノーマル

宮本 紀子 先生  
洛和会音羽病院アイセンター

# 患者さんに優しいニューコンセプト

座長

栗山 晶治 先生 洛和会音羽病院アイセンター

演者1

## 国産画像鮮明化技術が もたらす医療現場の革新

森 洋斉 先生 宮田眼科病院

画像鮮明化アルゴリズム“MIER-テクノロジー”は、もともとは、監視カメラや街頭カメラなどの画像を鮮明化する国産技術であり、セキュリティやインフラ分野で実績のある技術です。この技術は、悪条件下の画像であっても、加工・細工をせず、元の画像を復元することを可能とします。不鮮明な画像から情報を予測するAIとは異なり、元の画像に含まれた情報を適切に引き出して可視化することから、医療現場でも安心して使える技術です。

眼は非常に小さいため、正確な病態把握が極めて難しく、特に眼の中は暗いため、肉眼による視診では何も観察できません。それゆえ、多くの検査機器を用いることとなりますが、それぞれの機器で得られた画像が鮮明になればなるほど、疾患の見逃しが減少するだけでなく、疾患発見までの時間短縮も図れ、より効率的な診断につながると考えられます。

本講演では、“MIER-テクノロジー”を使用した実際の画像をご紹介しながら、診断における画像鮮明化技術の有用性についてお話しします。また、製品展開されている“MIER-テクノロジー”についても今一度整理させていただき、診察室・手術室といった臨床現場だけでなく、学会・講演会のプレゼンテーションや、医局・研究室などでの症例検討にも効果的なラインアップがそろっていることについても触れたいと思います。

演者2

## 硝子体注射のニューノーマル

宮本 紀子 先生 洛和会音羽病院アイセンター

加齢黄斑変性(AMD)に対する抗血管内皮増殖因子(VEGF)薬治療で現在まで長く使われてきた薬剤は2009年に登場したラニズマブ、2012年に登場したアフリベルセプトの2剤です。近年では2020年にブrolルズマブ、2022年にファリシマブが登場するなど、薬剤の選択肢が増加しました。

2021年にラニズマブバイオシミラー(BS)が登場し、年齢、効果、病型、副作用の観点に加え、コストの面からもようやく抗VEGF薬が選択できるようになりました。もちろん先行品と全く同じではありませんが、臨床試験で同等性が確認されており、発売後徐々にシェアを伸ばしています。投与症例の中には効果が不十分、早期再発などの症例が先行品同様出現する可能性はありますが、逆にラニズマブBSでも十分効果があって早期再発しない症例もあります。経済的にもラニズマブBSを第一選択として積極的に使用していく必要があると考え、今回はその治療成績を紹介したいと思います。